

都市再生整備計画 事後評価シート
神立駅周辺地区

令和5年1月

茨城県土浦市

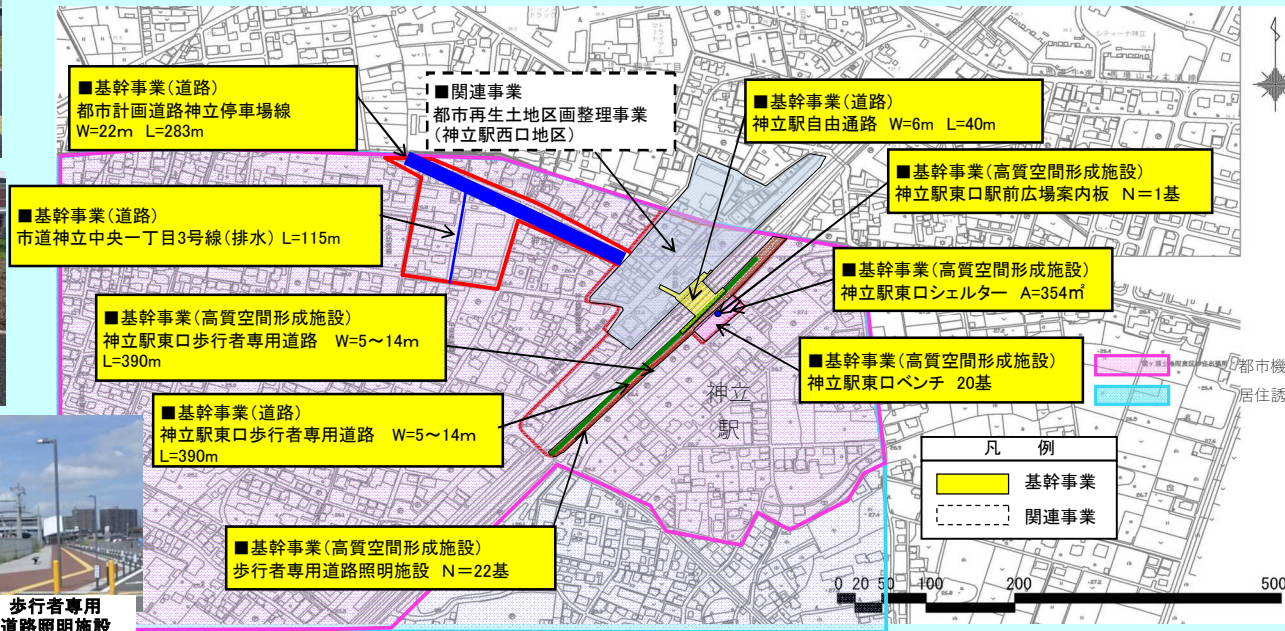
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	土浦市		地区名	神立駅周辺地区			面積	5.2ha		
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年9月		交付対象事業費	2,906百万円	国費率	0.452				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(神立駅自由通路、東口歩行者専用道路)、高質空間形成施設(東口歩行者専用道路、歩行者専用道路照明施設、神立駅東口シェルター、神立駅東口ベンチ)										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(神立駅東西口情報板)、高質空間形成施設(歩行者専用道路植栽・緑化施設)	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業		地域生活基盤施設:情報板6基をバリアフリーを目的とした案内板に変更計画としたため削除した。 高質空間形成施設:植栽・緑化部分をカラー舗装にする変更計画としたため削除した。				情報板の計画変更であり、指標等への影響なし。 植栽・緑化部をカラー舗装への変更であり、指標等への影響なし。					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(都市計画道路神立停車場線、市道神立中央一丁目3号線)高質空間形成施設(神立駅東口駅前広場案内板)	情報板6基をバリアフリーを目的とした案内板に変更計画としたため、触知案内板を追加する。 神立駅へのアクセス性向上及び交通結節点機能強化を図るため、神立停車場線を追加する。また、神立停車場線整備に伴う流末排水路整備(市道中央一丁目3号線)も併せて追加する。				情報板からバリアフリー化目的の案内板への変更のため、指標等への影響なし。 神立停車場線は、当初より都市再生整備計画の関連事業に位置付け、指標設定を行っていることから、指標等への影響なし。					
提案事業													
交付期間の変更	当初	平成29年度から令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
変更	変更	平成29年度から令和3年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	歩行者交通量	人	1,970	H22	1,970	R3		3,095	○	あり なし	東西自由通路及び歩行者専用道路の整備により、駅東口利用者が増えたことが原因と考える。従前値は、神立跨線人道橋経由でなく、踏切経由の利用者が多かったためと考える。	
	指標2	神立駅の乗降客数	人/日	10,800	H26	10,800	R3		8,368	△	あり なし	コロナ過の影響で目標を下回ったと考えられるが、市内各駅と比較し、減少割合は少ない。	
	指標3	神立駅東西アクセス時間(車椅子による移動時間)	分	11	H28	2	R3		2	○	あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	官民連携による取組	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										

様式2-2 地区の概要

神立駅周辺地区(茨城県土浦市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
<ul style="list-style-type: none"> ・広域拠点にふさわしい駅周辺都市環境の形成 ・快適な歩行者空間の形成によるまちの魅力の向上 ・神立駅利用者の利便性の向上 ・すべての人が安全で安心して移動できるまちづくり 	歩行者交通量	単位:人	1,970 H22	1,970 R3	3,095 R
	神立駅の乗降客数	単位:人/日	10,800 H26	10,800 R3	8,368 R
	神立駅東西アクセス時間	単位:分	11 H28	2 R3	2 R
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・自由通路の整備により、バリアフリー化が図られ、神立駅利用者の利便性向上と安心して移動できるまちづくりに寄与している。 ・都市計画道路神立停車場線の整備により、快適な歩行者空間の形成と駅へのアクセス性向上に寄与している。 ・東口歩行者専用道路(東口駅前広場含む)の整備と併せたシェルターやベンチの整備により、快適な歩行者空間の形成によるまちの魅力向上に寄与している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業等により、居住機能や商業・医療・福祉などの機能を確保し、本市における北の拠点とした生活環境を創出する。 ・人口が集積している駅西側や土浦協同病院が移転開業されたおつ野地区等への公共交通の発着地として、駅と地域が公共交通により結びついたアクセス性が高い環境づくりを図る。 ・医療・福祉施設の誘導などにより、高齢者目線に住みやすいまちを形成する。